

講師紹介



KanaiNaviDent co.,LTD

金井 孝行 先生

社団法人群馬県歯科技工士会 会長

略歴

- 1957年12月 群馬県高崎市生まれ
- 1981年03月 歯友会歯科技術専門学校専修科卒業（現在 明倫短期大学）
- 1981年04月 株式会社 クリスタルデント入社
- 1987年02月 有限会社 カナイナビデント開業
- 1998年04月 社団法人 日本歯科技工士会 認定講師
- 2002年05月 社団法人 群馬県歯科技工士会 会長
- 2003年04月 明倫短期大学 臨床教授
- 2004年ー 現在に至る。

『愛・Love・デンチャー』

(有)カナイナビデント 金井孝行

抄録

高齢化社会を迎えて、いまだに景気の回復がなかなか進まない。さらに歯科技工界は、デフレに巻き込まれ最悪と考えられる。

しかし、患者の歯科治療に対するニーズは老若男女を問わず高まっている。ニーズに応える様に現在ではインプラントが増えて来ているがリスクもあり、すべてのケースに対応が難しい。

そこで、注目するのがキャストパーシャルデンチャーだと考えます。

私の講演テーマが、誰でも簡単にわかる・できるキャストパーシャルとしてキャストパーシャルデンチャーの講演をビギナーに向けて発信しています。

そして、歯科技工士がデンチャーを知り好きになって頂きたいので、前項と『愛・Love・デンチャー』をテーマにしました。

また、メインテーマと別に、もう一つサブテーマとして Harmony of the Oral Cavity（口腔内の調和）を考えています。

今回は、サブテーマの Harmony（調和）の大切さを同時に伝えたい。

多分誰もが日常キャストパーシャルの設計（スタンダードデザイン）を行なう上で何度か考え込んだ事があると思います。しかし設計は歯科医師が行なうのですが、デザインを知る事でアドバイスができ、コミュニケーションがとれ歯科医師と信頼関係が生まれます。

デザインの目的として口腔内に、キャストパーシャルデンチャーをセットした時に、痛くない事、口腔内が狭くならない事（違和感、舌感など）、舌感とは（キャストパーシャルデンチャーをセットした時に患者が舌で触れる凹凸）。その時に必要以上の凹凸と圧迫感、痛みを感じると不安になり、なかなかキャストパーシャルデンチャーを受け入れてもらえなくなる。そこで、セット時の第1印象を良くする為のスタンダードデザインを考える。

今回、私の考える HARMONY（ハーモニー）は、派手なデザインではなく口腔内に凹凸が少なくシンプルで強度がある事を示します。

この様なキャストパーシャルをシステム化してより速く、正確に、簡単に製作する方法をお話し出来たらと考えます。

また、歯科技工士のこれからの役目、方向などを知る事で、キャストパーシャルをカスタムインプラントと共存し、患者のニーズに応えられるプロの歯科技工士になれると考えます。お伝えたい事が沢山あります。講演の参加をお待ちしています。